

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成24年1月26日(2012.1.26)

【公表番号】特表2011-506611(P2011-506611A)
 【公表日】平成23年3月3日(2011.3.3)
 【年通号数】公開・登録公報2011-009
 【出願番号】特願2010-539716(P2010-539716)
 【国際特許分類】

C 0 7 C 17/23 (2006.01)
 C 0 7 C 21/18 (2006.01)
 C 0 7 C 17/354 (2006.01)
 C 0 7 C 17/278 (2006.01)
 C 0 7 C 19/10 (2006.01)
 C 0 7 B 61/00 (2006.01)
 B 0 1 J 27/138 (2006.01)
 B 0 1 J 27/125 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 17/23
 C 0 7 C 21/18
 C 0 7 C 17/354
 C 0 7 C 17/278
 C 0 7 C 19/10
 C 0 7 B 61/00 3 0 0
 B 0 1 J 27/138 Z
 B 0 1 J 27/125 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成23年12月5日(2011.12.5)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 7 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 7 7】

利益、他の利点、および問題の解決策は、具体的な実施形態に関して上に記載されてきた。しかしながら、利益、利点、問題の解決策、および任意の利益、利点、または想到されるかもしくはより顕著になるための解決策をもたらすかもしれないいかなる特徴も、特許請求の範囲のいずれかまたは全ての決定的に重要な、必要な、または本質的な特徴と解釈されるべきではない。

ある種の特徴は、明確にするために、別個の実施形態との関連で本明細書に記載されており、単一実施形態で組み合わせ提供されてもよいことが理解されるべきである。逆に、簡潔にするために、単一実施形態との関連で記載される様々な特徴はまた、別々にまたは任意の副次的組み合わせで提供されてもよい。さらに、範囲で記載される値の言及には、当該範囲内のそれぞれのおよびあらゆる値が含まれる。

【手続補正2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 7 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【 0 0 7 8 】

以上、本発明を要約すると下記のとおりです。

1. 脱ハロゲン化触媒の存在下に $CF_3CF_2CCl_2CF_2CF_3$ (CFC - 41 - 10 mca) を水素と反応させて $CF_3CF_2CCl = CFCF_3$ (CFC - 1419 myx) を製造する工程を含む方法。
2. 脱ハロゲン化触媒の存在下に $CF_3CF_2CCl = CFCF_3$ (CFC - 1419 myx) を水素と反応させて $CF_3CF_2CCF_3$ (オクタフルオロ - 2 - ペンチン) を製造する工程を含む方法。
3. 脱ハロゲン化触媒の存在下に $CF_3CF_2CCl = CFCF_3$ (CFC - 1419 myx) を水素と反応させて $CF_3CF_2CCF_3$ (オクタフルオロ - 2 - ペンチン) を製造する工程をさらに含む、上記 1 に記載の方法。
4. 脱ハロゲン化触媒の存在下に $CF_3CF_2CCl_2CF_2CF_3$ (CFC - 41 - 10 mca) を水素と反応させて $CF_3CF_2CCF_3$ (オクタフルオロ - 2 - ペンチン) を製造する工程を含む方法。
5. 圧力容器で、 $CF_3CF_2CCF_3$ を水素化触媒と反応させて $CF_3CF_2CH = CHCF_3$ (1, 1, 1, 4, 4, 5, 5, 5 - オクタフルオロ - 2 - ペンチン) を製造する工程をさらに含む、上記 2 ~ 4 のいずれかに記載の方法。
6. 水素化触媒がリンドラー触媒を含む、上記 5 に記載の方法。
7. $CF_3CF_2CCl = CFCF_3$ (CFC - 1419 myx) が触媒の存在下に CF_2Cl_2 (CFC - 12) と $CF_2 = CF_2$ (テトラフルオロエチレン) との付加反応によって製造される、上記 1 に記載の方法。
8. 触媒がハロゲン化アルミニウム触媒である、上記 7 に記載の方法。

【 手 続 補 正 3 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 特 許 請 求 の 範 囲

【 補 正 対 象 項 目 名 】 全 文

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 特 許 請 求 の 範 囲 】

【 請 求 項 1 】

脱ハロゲン化触媒の存在下に $CF_3CF_2CCl_2CF_2CF_3$ (CFC - 41 - 10 mca) を水素と反応させて $CF_3CF_2CCl = CFCF_3$ (CFC - 1419 myx) を製造する工程を含む方法。

【 請 求 項 2 】

脱ハロゲン化触媒の存在下に $CF_3CF_2CCl = CFCF_3$ (CFC - 1419 myx) を水素と反応させて $CF_3CF_2CCF_3$ (オクタフルオロ - 2 - ペンチン) を製造する工程を含む方法。

【 請 求 項 3 】

脱ハロゲン化触媒の存在下に $CF_3CF_2CCl_2CF_2CF_3$ (CFC - 41 - 10 mca) を水素と反応させて $CF_3CF_2CCF_3$ (オクタフルオロ - 2 - ペンチン) を製造する工程を含む方法。